

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



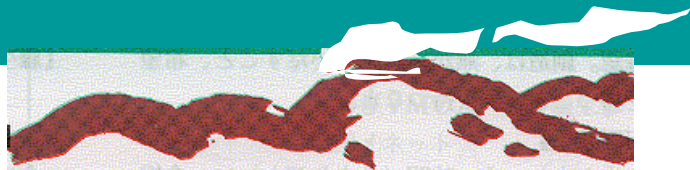
那須ワイズメンズク

2020~2021年度 No.259

7 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ III



強調月間：キックオフ
Change i 2022
PR

今月の聖句

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。(後略)
ヨハネによる福音書 17 : 21

7月第1例会(入会式・年間計画)

日時：7月24日(土)午後6時~午後7時
場所：那須YMCA、ZOOMによる参加も可。
内容：平山担当主事の入会式、総会

司会：村田 榮副会長

開会点鐘・挨拶 会長 河野 順子
ワイズソング斉唱 一同
ワイズの信条の斉唱 一同
聖書朗読・祈禱 司会者
ゲスト・ビジターの紹介
入会式

立会人 田村 修也副会長

入会者 平山 雄大担当主事
式文・バッジの装着 会長 河野 順子

総会

2020~2021年度事業報告並びに会計報告

2021~2022年度事業計画(案)

2021~2022年度会計予算(案)

その他

YMCA報告

ワイズ報告

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘 会長 河野 順子

コロナ禍で、夕食なしの1時間の例会とする。
ZOOMでの参加希望者は、村田または、平山主事まで
事前連絡をお願いします。

2021~2022年度 主題

国際会長：(IP) サム・サンテ(韓国)

「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長：(AP) 大野 勉(神戸ポート)

「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事：(RD) 大久保 知宏(宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるのか？」

北東部長：南澤 一右(仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

クラブ役員

会長：河野 順子
副会長：村田 榮・田村 修也
書記：藤生 強
会計：村田 榮・鈴木 保江
担当主事：平山 雄大
ブリテン：田村 修也・村田 榮

6月例会データ(出席率：80%)

在籍者 6名(内 功労会員1名) 例会出席者 中止
メイクアップ 4名

7月 Happy Birthday

7/8 村田紀美子 メネット

7/11 鈴木 保江 ウィメン

・8月第2例会(役員会)

日時：8月6日(金)午後4時30分から
場所：田村メン宅

・8月第1例会(納涼例会)

日時：8月21日(土)
内容：塩谷キャンプ場訪問
場所：塩谷キャンプ場

巻 頭 言

会長 河野 順子

例年ならば、9月敬老の日があり祝日として国民のお祝いではありますが、この時勢、昨年も敬老会など催しはできず、今年も自治会における敬老会は中止です。

我が自治会はそのために、敬老事業として75歳以上の高齢者に敬意を表して少しばかりのお祝いものを届けました。

今年は自治会の役員の席を与えている私がお祝いものをお届けする手はずを摂りました。

何事も緊張するものでありますが、初めての経験でして自治会の高齢者すべてを把握しているわけもなく結構緊張した自分がいました。

総務省統計局によりますと全国で75歳以上人口は、1872万人でこれは総人口の14.9%だそうです。前年に比べ24万人増(0.3ポイント上昇)、80歳以上人口は1160万人(9.2%)で36万人増(0.3ポイント上昇)となったそうです。

総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみますと、1950年以降一貫して上昇が続いており、2005年に20%を超え、2020年は28.7%となりました。この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期(1971年～1974年)に生まれた世代が65歳以上となる2040年には、35.3%になると国立社会保障・人口問題研究所の推計が示しています。

ところで、当自治会に戻りまして150世帯中、75歳以上は101名です。市と自治会からのお祝い金で、商品券と赤飯を配りました。この企画をしている自分も高齢者二人暮らしで自分へのお祝いを自分が企画実施していることに複雑な思いでありました。

各班長さんに各班の高齢者に配って頂きましたが、班長さんが90歳という方もおられ、とても重い赤飯など持って頂けない有様でした。しかしながら、高齢でありながら班長さんをされている方々は、しっかりしておられます。今や100年人生といわれますが、ひよっとしたらそれ以上が期待できる先輩方になるかもしれないと、配られた赤飯を口にしながら思いを馳せました。

6月例会で探索することになっていた墓沼用水について記載しました。

9月例会を楽しみにお待ちください。

墓沼用水(ひきぬまようすい)は、蛇尾川(さびがわ)の上流、大蛇尾川と小蛇尾川の合流地点のすぐ下より取水し、墓沼から西那須野地区を経て大田原市に至る延長約20キロメートルの用水である。慶長年間(1596～1615)に墓沼ほか4か村(折戸(おりど)・上横林(かみよこばやし)・横林(よこばやし)・接骨木(にわとこ))の自普請(じふしん)によって開かれたもので、当初は「接骨木堀」と呼ばれていた。水量が少なく、飲用水として利用されていたと言われる。

その後石林まで延長され、「墓沼堀」と呼ばれるようになり、さらに、明和8年(1771)には、大田原藩によって大田原城下まで延長された。これ以降、大田原藩の規制下におかれ、大田原用水とも御用堀とも呼ばれるようになった。天明年間(1781～89)ならびに明治33年(1900)に大改修が行なわれ、今日なお清流が流れて水田をうるおしている。



接骨木(にわとこ)地域を流れる墓沼用水



乃木神社の境内を流れる墓沼用水

6月第1(墓沼用水探索)例会

雨のため中止・9月に延期

7月第2例会(役員会)報告

日時：7月2日(金)午後4時30分～

場所：田村副会長宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山主事

協議事項

1. 7月第1例会について

平山担当主事の入会式。総会(年度報告と年度計画)。7月24日(土)午後6時から7時まで。那須YMCA。食事はなし。リーダーの参加。その他ゲスト。ZOOMの併用。

2. 2021～2022年度計画について

墓沼(ひきぬま)探索は9月例会。8月納涼例会は、塩谷キャンプ場で行う。8月21日(土)。11月は、日本文化にふれると題して、遠山師宅でのお茶の会を計画。

3. 8月役員会(第2例会)について

8月6日(金)午後4時30分から、田村ワイズ宅にて開催する。

4. ワイズ報告

6月12日(土)に代議員会が開催され、ワイズメンズ国際協会東日本区が一般社団法人となることが承認された。

5. シイタケ昆布の注文について

8月末に行う。

旧西那須野(那須西原)の緑と水(第99回)

田村修也

明治21年1月21日に開催された那須開墾社株主総会、は明治21年1月7日に病没した印南丈作社長へ追賞として300円、建碑料として200円の支出を決議しました。この印南丈作初代社長の顕彰碑は、その後明治29年に具体化し、撰文は佐々木高行伯爵、揮毫は金井之恭貴族院議院錦鶏間祇候によるものでした。そして、2年後の明治31年10月20日に、那須野が原開拓の当初からの歴史を刻んでいる烏ヶ森の丘の上に有栖川宮熾仁親王殿下御手植松の碑の一段下がった所に建立されました。

この顕彰碑について矢板武社長はその著書「那須開墾誌」の中で、こう記しています。

故那須開墾社長印南丈作翁の碑

是は明治31年10月20日烏森丘上に建てたるもの也其篆額及撰文は佐々木伯爵の作に係り揮毫は金井之恭氏に当り翁の開墾に貢したる事蹟を略誌す
初め建碑を企画するや有志の寄附金頗多く之に本社より支出せる二百五十円を加えて其額八百余円に達し建築費及建碑式の諸経費を控除し尚残額五百円を得たり依て其残金を以て未亡人の扶助料に充て爾來矢板銀行其保管に任して毎月未亡人に利子を送り又原資は葬儀弔祭料等に宛つることとし之を保管せり

印南丈作翁碑銘

吾邦地形約於西面褒於東約處人稠戸密土地墾闢已盡褒處則反之曠野數十里猶有委之荒蕪者如下毛州那須原是也印南丈作翁夙概之嘗與郷人矢板武謀當令鍋島幹行郡説以起苗裔之計然地乏水排先通溝渠則不可翁乃親履丈步測高下欲決中川水貫原中央而注之鬼怒川會福島縣安積疏水議起内務卿伊藤博文大蔵大輔松方正義監察焉翁途次迎至又説其事當時在兼通舟楫之利以功費鉅未果明治十三年翁借原地三千餘町募同志創一社衆堆爲社長購洋製農具誅茅拓土築家移民遠近相傳爭而傲之至梢成聚落尋講官金五萬八千餘圓以鑿一渠縣督其工事既成居民始得給飲而翁意以爲足衷糧至東京歴説當路有志東西奔走更講金拾萬圓以鑿一大溝内務省督工事至十八年九月成於是奔流一瀉支流皆盈播種耘耔之功始得施焉乃以其十五日講北白川宮能久親王内務卿山縣有朋臨落之官賞翁及矢板武功各賜銀盃嗚呼翁功偉乎矣抑奧羽北海其地固十倍州可墾之土基多苟有働翁之爲者則富庶之源有未有可測者而國家勸農之旨庶乎亦可以達也翁州之日光人本姓神山氏父曰長衛翁少嗣佐久山印南氏家領主福原氏舉爲町年寄後維新初王師東征翁説領主備兵從軍亂平福原氏以功監白河傍近祖人翁憫兵後民困上京具狀得減其半後遭縣治屢革常奉職於區戸長嘗成産馬會社長又首昌永存日光廟如那須開墾則係老後之業拮据七年雖嚴冬烈日未嘗少懈云二十年一月以病歿享年五十七遺言葬二室岡配即家女舉二男二女今茲丙申八月四日賞勲局總裁大給子勅賜銀盃一箇干遺族賞其生前功頃社員有建碑之舉講文於余余固識翁乃爲叙其行事之概繫以銘銘曰

動不爲身 居今行古
斯人而亡 誰踵其武
禾黍芄芄 原田膺膺
魂乎長留 維子之士

明治二十九年十月

樞密顧問官從二位勲一等伯爵

佐々木高行撰並篆額

貴族院議院錦鶏間祇候正四位勲二等

金井之恭 書

この顕彰碑の裏面には、以下のように刻まれています。

明治廿一年現那須開墾社株主姓名

烏山 貞利 千坂 高雅 塩谷郡土屋村 矢板 武
吉田市十郎 今村 和朗 那須郡沢村 佐々木高美
日下 義市金井 之恭 高須 退蔵

同上石上村 岩崎 久弥 石原 敬之大島 高任
北川 董吾 右社長矢板武

大久保利和 田代荒次郎 松方 正義 滝沢喜平治
幹事吉田市十郎

巖谷 修 田中 栄秀

高橋 一雄 相山 明義 同斎藤半次郎

牧野 信昭 鮎瀬淳一郎

谷 謹一郎 児玉 完蔵

鍋島 幹 林 賢蔵

吉井 友美

(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

今年度から皆様のご協力のもと、園の方針として月間絵本をご家庭と園の共通教材として、園でもご家庭でも読み聞かせの実践をお願いしているところです。

この目的の一つは、このコロナ禍によって、家で過ごすことが増えるなか、子どもへの好影響はもちろん、少しでも親が安心して子育てできる一助にというものです。

というのも、昨年度から度々お伝えしていることですが、東日本大震災で放射能汚染や津波で被災した地域の子供達に、語彙数が少ない子、知的に遅れのある子どもの割合の増加があり、不安のなかでの子育てで、うまく愛着形成が図れなかった事が一因ではないかと報告されているからです。

6月8日、オンラインでの園長研修会のなかで、脳トレで有名になった川島隆太東北大学教授の「脳科学からみた学力と生活習慣の因果関係」という資料が紹介されました。それによると、「幼児期からの読書(読み聞かせ)は、創造力育成と親の脳も活発にする」というものです。「子どものこころを安定させ、親の脳を活発にするオキシトシンというホルモンやセレトニンという脳内伝達物質が増加する」とのことです。オキシトシンには、ストレスを解消し安らぎや幸せを感じる作用があり、セレトニン

には、精神の安定、安心、脳を活発化する作用があるそうです。

さあ、私たちのためにも読み聞かせを楽しみましょう。

(しらゆり 2021. 6. 11 加筆修正)

アジア学院だより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

今年2月1日にミャンマー国軍がクーデターを起こして以来、国軍はいわゆる市民不服従運動(非暴力・民主的に民主化を求めるデモ)に参加する市民に対して弾圧を続けています。これまでに800人近い死者(その多くが若者)が出、5000人以上の市民が軍に拘束されていると言われています。

(そのうちデモに参加していただけだと思われる296人が6月30日に解放されたという情報有。)

ミャンマーには90人以上のアジア学院卒業生がおり、そのほとんどは少数民族に属し、今回の市民不服従運動にも参加していると思われます。

ミャンマーの卒業生からはSNSを通じて彼らの不服従運動の様子が伝えられてきていましたが、4月に入ってからは連絡が減り、現在では時々短い連絡が入るのみとなりました。しかしそこには多くの人が森や国境に向けて避難していること、避難できない人々は庭に防空壕を掘るしか自衛手段がないことなどが書かれており、彼らの身の安全を大変危惧しています。アジア学院としてはこれまで、地元選出の国会議員に陳情するなどの働きかけを行いました。どうぞミャンマーの民主化を求める人々の安全と、一日も早い治安の回復を皆様のお祈りに加えてください。以下は、卒業生からの情報の一部です。

「多くの人々がジャングルに逃げて下痢、病気、水不足に苦しんでいます。私は毎日銃弾の飛び交う道を通っています。クーデターは4つのものを断ち切りました。通信、食料、金融、そして人間関係です。そのせいで食料を送りあうことができません。とても悲しいです。」(6月5日)

「卒業生Hさんは2か月前にオートバイ事故で足を怪我し、それがまだ回復していないのに、息子さんが先月避難民に食料を運んでいる時に軍に拘束されてしまいました。実はそのことを家族は知らずについて、息子さんの友達からつい最近そのことを知らされました。」(6月21日)

「現在近くの村々では食料不足が発生しています。そこで働くボランティアによれば、食料はあと10～15日分しかないそうです。この地域はすでに2か月間困難な状況下にあつて、これ以上困っている人に食料を配る余裕はありません。この緊急事態に対して何か手を差し伸べてください。(チン州 ミンダット)」(6月21日)

「私の町は不安定な状況で、人々は内乱で苦しんでいます。だから選択の余地はありません。私たちは自由のために戦い、勝たねばならないのです。この革命を生きのび、いつか皆さんに会えることを願っています。また、私は1500人の避難民(多くは高齢者と子供)の食料と薬を調達しています。今では私の町に2万人を超える避難民がいます。とても心が痛みます。この残酷な世界にどう打ち勝つのかと、孤独と失望を覚えるときもあります。私のために祈ってください。私は”農村指導者”なのです。」(6月26日)(アジア学院はいつも学生や卒業生を”農村指導者”と呼んでいます)

共にアジア学院で生活をした仲間の多くがこのような現実さらされていることが悲痛でなりません。皆様のお祈りをお願いいたします。

YMCAだより

【サマープログラムの申し込みが開始されました！】

6月11日より申し込みが始まりました！！
今年の夏、とちぎYMCAでは、3つのキャンプ、6つの日帰りプログラム、短期水泳、サッカーフェスティバルを実施します。今年度は申込がスタートしたその日にほとんどのプログラムが満員となりました。とちぎYMCAのボランティアリーダーが今年も子どもたちのためにプログラムの準備を頑張っています！プログラムに関わる全ての人が笑顔になることを目指していきます。



【とちぎYMCA・那須YMCAの7月の予定】

- ・7/3(土) サタデークラブ@科学実験
- ・7/4(日) 那須YMCA 新入生歓迎会@那須YMCA
- ・7/10(土) サタデークラブ@染物体験
- ・7/11(日) 7月Yキッズ@鬼怒川オートキャンプ場
- ・7/17(土) あそぼ祭り@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/18(日) 野外炊飯リーダートレーニング@冒険活動センター
- ・7/24(土)～ サマープログラム開始

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

今月はお休みです。

編集後記

・ワイズの新しい年度が始まりました。コロナ禍で、2020～2021年度の活動の在り方が大きく変化してきました。ワクチン接種が進んでいくことで、ワイズの活動がコロナ前に戻ることができるのか? 新しい活動形式を模索する1年となることでしょう。更なる発展を願います。

・今年度の理事は、宇都宮クラブの大久保ワイズです。皆様のご協力をお願いします。

・梅雨明けとともに、本格的な暑さ。マスクを外せない中で、しっかりと暑さ対策をとり、夏を乗り越えましょう!!

・今年度の会費(年額50,000円)の納入を会計までお願いします。